

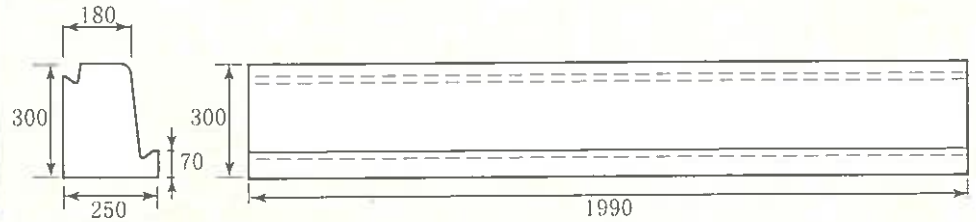
防草ブロック

■第16回 国土技術開発賞 ■第13回 エコプロダクツ大賞 奨励賞
 ■第61回 2017年度グッドデザイン賞・BEST100

防草ブロックと工法。

特殊境界ブロック (中央分離帯等)

道路

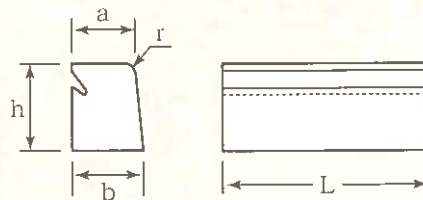


特長

アスファルト等の境目からの雑草の成長を止めます
 境部への防草資材(シート・シール等)が不用
 草刈作業等の経費軽減
 道路環境の美観・安全性の継続

片面歩車道境界ブロック

■規格

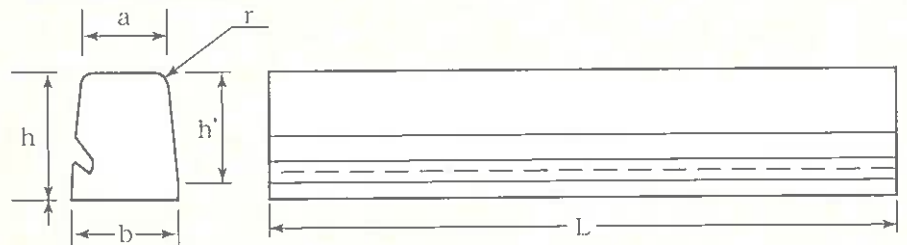


呼び名	寸法 (mm)					参考重量 (kg)
	a	b	h	r	L	
A	150	170	200	20	990	72
B	180	205	250	30	990	112
C	180	210	300	30	990	134

■施行例



両面歩車道境界ブロック



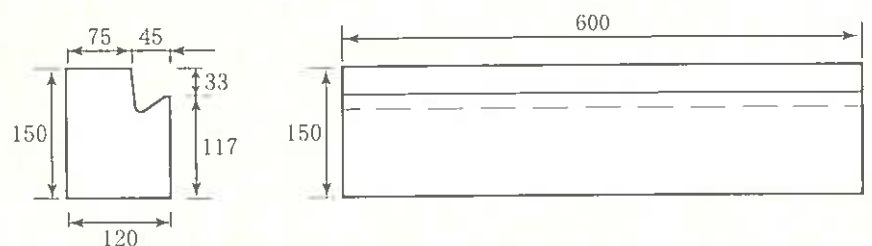
■規格

呼び名	寸法 (mm)						参考重量 (kg)
	a	b	h'	h	r	L	
A	150	190	200	230	20	1,990	152
B	180	230	250	280	30	1,990	243

※街渠用カット加工製品 (P22標準構造図例) もあります。



地先境界ブロック

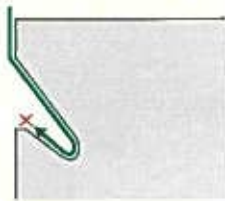


注: 予告なく規格・寸法等変更することがございますので当社にご確認下さい。

植物の性質を利用

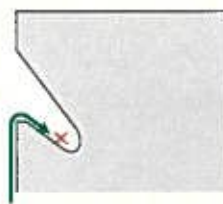
- 植物には屈地性という性質があります。植物の根は地面の方に向かって成長し、茎はその逆に向かって伸びていくという性質です。根には正の屈地性が、茎には負の屈地性があります。また植物が光に向かって成長していくことを屈光性といいます。
- 防草ブロックでは本体に切り込みを設けることで雑草が成長してもこれらの性質と反対方向に根や茎を向けさせることにより、**雑草の成長が止まる構造**になっております。

根の成長過程



根は地中に向かって下向きに成長しようとするが、成長途中で上向きに進路を変えられる為、成長できずに枯れてしまう。

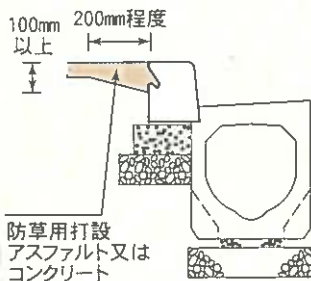
茎の成長過程



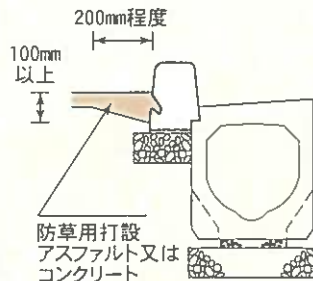
芽は太陽に向かって上向きに成長しようとするが、途中で進路を下向きに変えられる為、成長できずに枯れてしまう。

標準構造図例

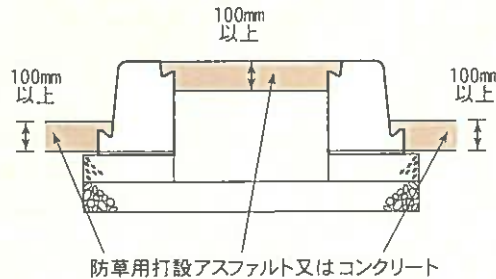
■マウントアップ式に



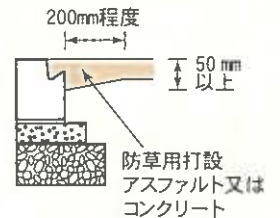
■セミフラット式に



■中央分離帯に



■地先境界ブロック



防草用のアスファルト・コンクリートの打設は、防草効果を得る為に最も重要な工程となります。打設前に、**切り欠け部**に砂・砂利や目地モルタルなどの**残留物が残らない様**十分な清掃を行い、打設時は、アスファルト又はコンクリートが、切り欠け内に緊密に満たされる様に充填を行ってください。

防草技術に対するコメント

国立大学法人 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 教授 北野 英己

この「防草工法」は、楔型の物理的障壁面を水平から下向きに傾ける事により、下から伸びてきた雑草の芽を本来の伸長方向とは逆方向に誘導するような構造にすることにより芽が地上へ出るのを防いでいます。一方、目地の表面近くで発芽した雑草は、楔型障壁の最下部に根が到達しても今度は本来とは逆向きに伸長しなければ土中に到達できないことから養水分が供給されていても根の成長が極力抑制されるので目地に侵入した雑草の成長も抑制できる構造となっています。

本防草工法は、屈光性・屈地性といった植物の持つ基本的性質を利用した環境負荷の極めて小さい技術でありながら、施工による「除草経費の削減」や「道路の美観の維持」といった大きな効果が期待できるという点で極めて優れた技術として評価に値すると考えられる事からこの技術が広く普及されることを期待しています。